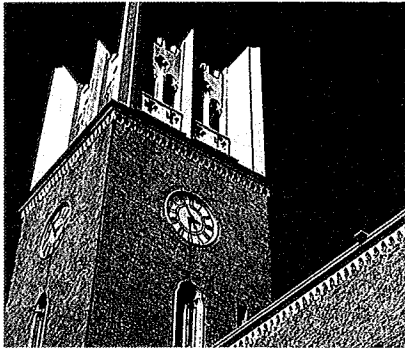


# Waseda Spirit-Our Principle



## データで見る データで読む

あらゆる角度から早稲田大学を知る。  
各種データから早稲田大学の実態が  
読みとれると思います。

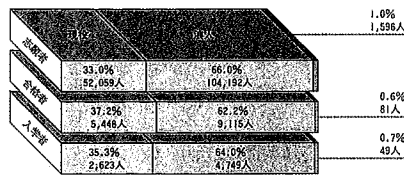
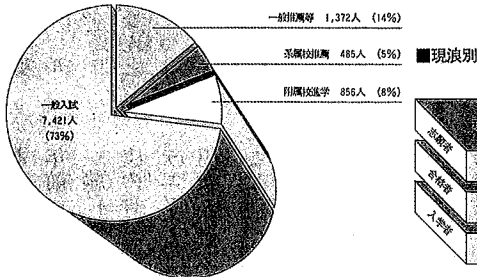
### 早稲田大学



■発行  
早稲田大学校友会  
鹿児島県支部  
■住所  
鹿児島市金生町3-1  
山形屋本部秘書室  
☎0992-27-6310(代)

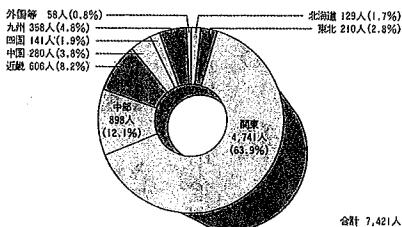
### ●1992年度入試結果

■一般入試と推薦の割合  
総数—10,134人

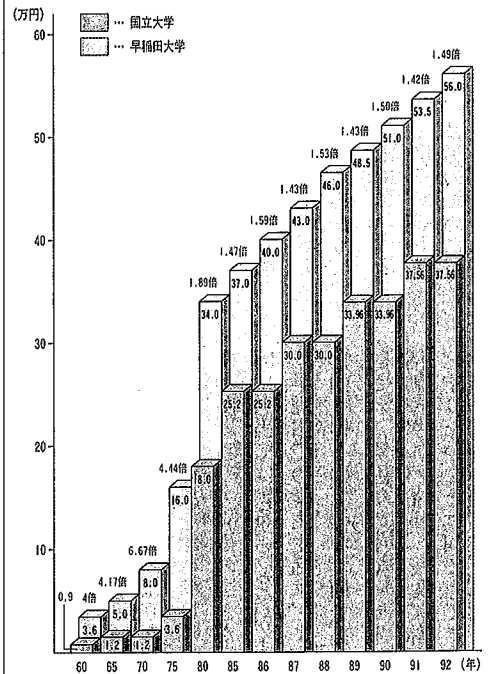


※一般推薦には自己推薦、特別推薦、社会人、短期生を含む。

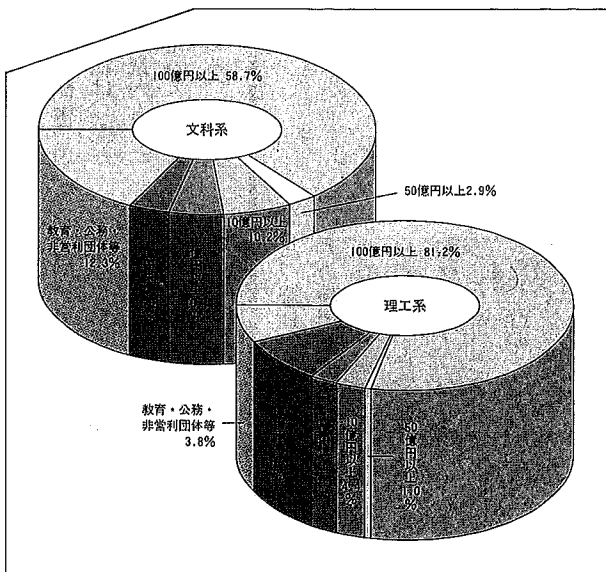
■出身高等学校所在地別



■国立大学との授業料比較



■資本金規模別就職状況 (1991年度)



### 国家公務員 (I種)・司法試験・公認会計士各試験合格者数

(1) 国家公務員 (I種)

	1988年度	1989年度	1990年度	1991年度	1992年度
合格者数	91	91	97	107	127

(2) 司法試験

	1988年度	1989年度	1990年度	1991年度	1992年度
合格者数	67	95	70	83	112

(3) 公認会計士 2次試験

	1988年度	1989年度	1990年度	1991年度	1992年度
合格者数	45	58	80	101	110

(注) ・合格者数には既卒を含む。  
・公認会計士合格数は、公認会計士稲門会資料による。

# 静と動の趣味

鹿兒島県庁河川課

西岡 一 美 (S51年社会科学部卒)



鹿兒島県庁に入つて、早十九年目になる。ちょうど折り返し地点にあたる。入庁以来、各種の趣味を行ってきた。今までやってきたものをあげると、静のものが映画、

歴史小説の読書、グルメ体験、動のもの弓道、少林寺拳法、ゴルフ、テニス、旅行等である。

現在、四十歳代に入り、なんとか退職までにライフワークにつながるようなバランスのとれた静・動の趣味を模索しているところである。サラリーマンであれば「定年」というエンドマークがあるが、趣味には定年はないのである。人によっては、趣味が昂じて実益につながり、定年後の仕事になった人もいる。

私の理想としては、定年後に仕事の代わりになる趣味、ライフワークとして夫婦共同でやれる趣味を目指してみたい。

現在、静の趣味としては、映画鑑賞がある。この映画鑑賞は、三十年間続いている。ちまたでは、ビデオで済ませようとしているが、私は新作映画は全て仕事を繰り合わせて映画館で見ている。映画館に入ると異次元空間で日常生活と遮断され、仕事も忘れ、没頭できる。映画が終わると余韻にひたり、仕事のストレスがとれ、「仕事、また頑張るぞ」とのファイトがわいてくる。映画も千八百円であるが、映画クラブに入会して千円で鑑賞でき、最適なストレス解消法である。これは、退職後も続けたいと思う。また、映画のロケ地、ニューヨーク、フライデルフィア等旅行したい。

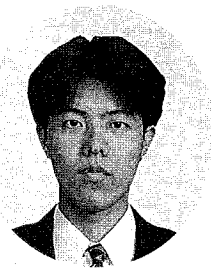
次に、動の趣味としてテニスを

あげたい。これは、離島勤務の二年前に始めたものである。夫婦で一緒に始め、現在は土・日いつも健康の森公園で練習に余念がない。テニスクラブに入会すれば、老若男女、和気あいあいやれて、ストレ

## 早稲田追憶

鹿兒島市役所国民年金課

黒田 和宏 (H5年教育学部卒)



スをボールにぶつければ最高だ。四十代になれば、自分の健康管理も仕事のうちである。私は、未だに体重は変わらない。家内もテニスに打ち込んで、育児のストレスも忘れていようである。お互い

に自分のフォームのチェックをし、夫婦の会話も絶えない。今後も定年まで、定年後もこの静と動のバランスを考えながら趣味を高めていきたい。

過ぎた者にとつて、鹿兒島の観光案内をするというのはなかなか難しい。そこで、鹿兒島といえば「桜島」という定石どおりに、ま

ざ桜島を見せることにした。噴煙こそ上げていなかったものの、その姿は凜とした趣に満ちていた。

例えば、東京にいた頃は桜島が懐かしくてたまらなかった。降灰に悩まされ、疎ましく思っていた桜島を、鹿兒島を離れると俄然いとしく感じる。我ながら現金な奴である。しかし、そのような心境の変化も鹿兒島を離れなければなかっただろう。同様のことが早稲田にも当てはまるような気がする。

早稲田での学生生活は、まさに自由そのものだった。何をしても許される雰囲気の中で、サークル活動やアルバイト、そして旅行などやりたいことは何でもできた。だが、楽しいことだけではなかつ

た。離れているために互いの気持ちの歯車が空回りしていた遠距離恋愛のもどかしさ。アルバイト中に車をぶつけ、修理代のために無償で働いたときの虚しさ。楽しいことも辛いことも、早稲田を離れた今、鮮明に心の中に甦る。学生時代はただひたすら走り続けていたために気付かなかつた早稲田の素晴らしさも、卒業して初めて分かった気がする。

思いつくままに案内をしながら、仕事のことやゼミの仲間の近況などを久しぶりに話していると、時間のたつのも忘れていた。話は尽きなかつたが、ホテルの最終チェックインの時間も迫っていたので、彼女を送っていった。その日の大役を果たした僕は、心地よい疲労感に包まれて車を走らせていた。

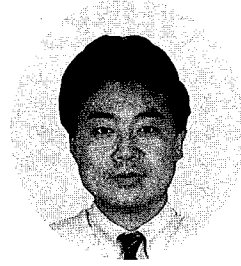
早稲田を卒業して一年近くが過ぎた今、そろそろ早稲田を訪ねてみよう。教育学部前のロッタリーで昼寝もしたいし、早稲田カードで図書館にも入ってみたい。そして何より、学生時代の仲間達に会ってみたい。貴重なあの時代を、同じ早稲田で過ごした仲間達に。

# 早稲田マンの不思議なパワー

鹿兒島読売テレビ

大竹山

章 (S 61年社会科学部卒)



皆様と交わえることを感謝しております。

二年前、初めて住む熊本の地においても会社の先輩のすすめで、稲門会の青年版、早稲田青年会で、

酒を酌み交わす機会を得ることができました。同じく転勤族で熊本に集まった同世代の連中とは、昔からの友人のような感覚でつきあっておりました。

現在は、KYT鹿兒島読売テレビで編成・広報の仕事に携わっております(皆様、KYTのチャンネル合わせはお済みですか?)。開局したばかりで至らぬ点が多々あると思いますが、どうぞ諸先輩方、

後輩の皆様の建設的なご意見をいただければ幸いに存じます。

学生時代はほとんど鹿兒島に帰省することなく、社会人になってからも六年間は東京勤務でしたから、鹿兒島のネットワークづくりはこれからです。公私ともによりしくお願いします。

追記 筆者は独身です。上手ではありませんませんが、現在ゴルフも大好きです。

## 懐かしい、楽しかったあの頃

南日本新聞社 編集局

菅野 江津子 (H 6年第一文学部卒)



部の方が大勢を占めていらつしやうて、一種異様な雰囲気にもなりました。そのことを覚えておいて、

さらに、早稲田祭に稲門会として参加するからと、再びお誘いを受けたのですが、私用で参加できず、当日その場所を通つてみると場所だけとあつて、誰もいないのを不思議に思った。という経験があります。もつともその後

も、早稲田祭の度に同じ体験をする事になり、よその稲門会がとんこつラーメンだの焼きまんじゅうだのを売つたり、県によつては大隈さんの銅像になつたりしているのを横目に見ながら、鹿兒島稲門会っていったい...?と思つたものです。

さて、私の大学生活はというと、サークルに学業に忙しい、フツーなサークル活動をなさっていたとは思いますが、私がやっていたのは人形劇のサークルで、創業(?)四十六年といえますから、皆さんもどこかで早稲田の人形つかいの姿をご覧になっているかもしれません。

学生時代には本当にいろいろなことがありましたが、その中でも、早稲田の特徴の一つといつてもいい、多種多様な人間模様に触れたことが私の一番の宝物なのではないか、と最近思うようになりました。あ、なんだか急に懐かしくなつてきた。これが学生時代というものでしょうか。まだ卒業して二カ月くらいしかたつていないなんて嘘みたいないな、楽しかったあの頃」は急に遠くに行つてしまつたようです。

六月。結婚シーズンである。先日久しぶりに早稲田の友人の結婚式があり、改めて早稲田マンの集いは「何かが違う」と感じました。彼は東京の放送局に勤務しており、列席者の大半は放送業界の人間であり、余興もこれまでに見たことのない趣向を凝らしたものでした。新郎がここまでやるかというほどのパンツの芸が披露されました。(注)決して下品なものではなかった)

実は、数年前まで結婚式の司会の副業をしていたこともあり、約二百五十組以上の結婚式に出席してきました。しかし、何故か早稲田マンの結婚式のみに、不思議なパワーを感じます。どういうわけか、出席して「元氣」がでるのであります。

ところで私こと、鹿兒島の出身であり、こうして鹿兒島稲門会の

### 平成6年度支部総会開催のお知らせ

早稲田大学校友会鹿兒島県支部支部長 松元茂

記

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、早速でございますが、早稲田大学校友会鹿兒島県支部の平成6年度総会を右記のとおり開催いたしたいと存じます。今年には大学から小山宙丸総長及び石黒校友会代表幹事をお招きし、校友による懇親会とし抽選会等楽しく過ごしたいと存じます。ご多用中とは存じますが、皆様ご出席下さいますようお願い申し上げます。なお、ご存知の校友の方がおられましたら、声をかけていただき、お気軽にご参加下さい。敬具

日時 平成6年7月30日(土) 午後5時30分～(総会後懇親会)  
場所 チサンホテル (☎0992-24-3211)  
会費 6,000円(運営費込み)  
議題 ・平成5年度事業報告及び決算報告の件  
・支部役員改選の件  
・その他

# 集え川内レガッタ

鹿児島に、燃える夏がやってきました。その中で、川内は更に燃え上がっております。そうです。今年もまた川内レガッタを迎えるからです。昨年は両校現役学生(塾生)の参加を得て、大いに盛り上がりました。肩を組み、共に歌った「若き血」や「紺碧の空」に青春を思い出し、血が燃えたぎる思いをしました。その節は大変お世話になりました。今年も昨年の感動を再現すべく、下記のとおり川内レガッタへ参加することにいたしました。昨年同様、格段のご支援の程よろしくお願ひいたします。

北薩三田会会長 荒木 貞夫・北薩稲門会会長 新原 晃  
記

## 1. 川内レガッタへの参加

日 時 平成6年7月31日(日)  
午前9時から午後5時まで  
場 所 川内市川内川河畔太平橋下流  
(国道3号線沿い)  
競技種目 ナックルフォア 500メートル  
参加チーム 鹿児島三田会チーム(5名以上7名以下)  
鹿児島稲門会チーム(同 )  
北薩三田会チーム(同 )  
北薩稲門会チーム(同 )  
集合時間 午後2時(出艇時間は午後3時30分ごろ)  
その他 会場で応援合戦を行う予定です。応援団が少ないとできません。ご家族連れでどうぞ。

## 2. 北薩三田会・稲門会合同例会の開催

日 時 平成6年7月31日(日) 午後5時から午後7時30分まで  
場 所 川内市神田2-30 スプリングメンテナンス会館 TEL25-3161  
会 費 会員:5,000円 同伴者:3,000円  
子供(18歳未満):1,000円  
その他 いろいろと趣向を凝らしたいと思っております。予算の都合もありますので、多数のご参加をお待ちしております。早慶のファンの方は、どなたでも歓迎いたします。  
お世話役=北薩三田会 待山義之 TEL0996-27-3111  
お世話役=北薩稲門会 仮屋立夫 TEL0996-23-2200

# コンペ成績表

開催日:平成6年4月29日  
コンペ名:第19回早慶対抗ゴルフ大会  
会 場:高牧カントリークラブ

順位	氏 名	OUT	IN	GROS	HDCP	NET	順位	氏 名	OUT	IN	GROS	HDCP	NET
1位	大西 儀 朋(W)	42	41	83	13.2	69.8	17位	上 妻 利 久(K)	47	52	99	21.6	77.4
2位	浜 田 絨 一(W)	52	48	100	28.8	71.2	18位	尾 堂 友 紀(W)	47	49	96	18.0	78.0
3位	玉 川 文 生(W)	44	42	86	14.4	71.6	19位	馬 場 弘 人(W)	47	37	84	6.0	78.0
4位	大 西 洋 逸(W)	50	47	97	24.0	73.0	20位	正 健 二 郎(K)	56	51	107	28.8	78.2
5位	吉 富 信 雄(K)	40	50	90	16.8	73.2	21位	大 野 達 郎(W)	51	46	97	18.0	79.0
6位	中 江 和 彦(K)	43	47	90	16.8	73.2	22位	諏 訪 秀 治(K)	51	48	99	19.2	79.8
7位	岩 下 吉 廣(W)	41	41	82	8.4	73.6	23位	田 中 健 作(W)	50	54	104	24.0	80.0
8位	柴 立 鉄 彦(K)	46	38	84	9.6	74.4	24位	樋 口 隆 三(K)	47	45	92	12.0	80.0
9位	堀 内 憲 夫(W)	52	53	105	30.0	75.0	25位	加 藤 伸 一(K)	53	60	113	31.2	81.8
10位	春 田 滋 夫(W)	41	50	91	15.6	75.4	26位	山 下 明 夫(K)	53	58	111	28.8	82.2
11位	初 田 健 一(K)	54	45	99	22.8	76.2	27位	中 尾 成 昭(K)	51	55	106	22.8	83.2
12位	吉 田 守 一(W)	43	47	90	13.2	76.8	28位	吉 野 正 二 郎(K)	57	59	116	30.0	86.0
13位	秋 葉 重 貴(K)	46	50	96	19.2	76.8	29位	田 中 幸 夫(W)	63	64	127	36.0	91.0
14位	石 原 石 一(K)	50	52	102	25.2	76.8	30位	栗 山 良 昭(W)	72	62	134	36.0	98.0
15位	久 保 四 郎(K)	52	50	102	25.2	76.8	31位	進 藤 弘 和(W)	70	68	138	36.0	102.0
15位	諏 訪 園 隆(W)	52	50	102	25.2	76.8	32位	山 田 季 延(K)	76	72	148	36.0	112.0

春爛漫の快晴の下、第十九回早慶対抗ゴルフ大会が高牧カントリークラブで行われた。過去の対戦成績が示す通り、早稲田五勝十三

敗と大きく負け越しており、しかも七連敗中!これ以上負けを増やすことは許されぬ状況の中、早稲田精鋭陣は終始慶応を圧倒。一位

# 早稲田勝ち星 8シーズンぶり

から四位までを独占するなど、上位十名のトータルでも二・六ポイントの大差をつけて久々の美酒を味わった。

今回の勝因の一つに、参加人数が十六名と多かったこと(連敗中は慶応より五・七名少ない)、それと一つになく勝負に対するこだわりがあったことが挙げられる。両校共に十六名ずつの三十二名であったが、実力では上である早稲田にとってメンバーが揃えば勝てるということを実証した内容であった。

最後に今回はいよいよ二十回記念大会。この勝利に弾みをつけ、多数のご参加をお願い致します。追伸!ちなみに、個人戦優勝は幹事である私、大西儀朋でありました。

幹事 大西 儀朋

## 編集後記

8シーズンぶりに勝利した早慶対抗ゴルフ大会、やればできる。この勢いで支部総会、川内レガッタも大いに盛り上げていきましょう。

会報委員

- 吉田 守 久保 英司
- 辛島史朗 大西 儀朋
- 始良一徹 西青木 亨